

『ざっそう』

かがくのとも傑作集
甲斐信枝 ぶん・え
福音館書店 (1972年9月)



あたたか
くなってき
ました。お天
気も良いし、
散歩に出よ
うかな……。
そんな時は、
甲斐信枝さ
んの『ざっそ

う』を、散歩のおともにお持ちください。

空地には、名前も知らない草花が、かわ
いい小さな花をいっぱい咲かせています。
よく見てみましょう。草たちが、てんでに
地面の取りあいをしているのがわかります
か？同じ種類の草たちはかたまりあって茎
をのばし、葉を広げています。ぐずぐずし
ていると、他の草に負けてしまうのです。

夏になると、背の高い草たちが、ぐんぐ
ん丈を伸ばしてきます。背の低い春の草た
ちはもうおしまい。種を飛ばしてお休みで
す。でも、そんな時でも、背の高い草の下
の隙間にせっせと茎を伸ばしている草もあ
ります。

秋も終わり、夏草たちが枯れた頃、その
下にはすでに春の草たちが小さな葉を広げ
始めています。春が来たら、すぐに活動再
開できるように……

美しい絵と文で雑草のいとなみを見てい
るうちに、それぞれが生きのびるためにた
くましい戦略を使っていることがわかり、
雑草たちがいとおしくなってきました。ま
ず。ていねいな絵には名前もつけてあるの
で、草の名前も覚えられます。